

7. 関係者ヒアリング

多摩市公共交通の現状や課題を整理するため、路線バス事業者(2社)、タクシー事業者(3社)にヒアリングを実施した。

(1)京王バス(株)

| 会社概要(人員・車両台数など) |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">- 乗務員数は全社合算で(京王電鉄バスグループ)1,600名程度である。50歳以上が7割を占めている。- すでに乗務員不足が深刻化しているが、定年(65歳)を考えると、今後加速度的に要員不足が深刻化する。 |

| 公共交通の現状・問題点 |
|--|
| <p>■路線バス</p> <ul style="list-style-type: none">- 多摩市内は概ね良好な路線バスネットワークが形成されている。- 高齢化の進行に伴って IC カード、現金利用者が減少し、シルバーバス利用が増えてきている。日中も混雑し、お年寄りの立ち客も多く運転に危険が伴う。- 聖蹟桜ヶ丘～永山区間は、通勤・通学利用が多い。- 子育て世帯から「座れないのでバスを使わない」という声もあった。- 乗り切れない区間はない。- ニュータウン内の施設が減少しており、市民が駅まで行く頻度が高まっている。- バスターミナルは薄暗い・サインが分かりにくい、ベンチが汚れている等の問題があると感じる。 <p>■ミニバス</p> <ul style="list-style-type: none">- 他の路線への乗継は少ない。- 東西線はエリアごとに輸送密度が異なり、利用が低い区間がある。- 南北線は、需要が少ないので、現在の輸送力を維持する必要があるのか検討が必要ではないか。- ドライバーが不足しているため、運行台数を5台(南北線1台、東西線4台)から4台に減らす必要がある。 |

| その他(連携施策など) |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">- 高齢利用者の増加に伴い、車内事故のリスクも増大しており、ドライバーの心理的負担になっている。市と一緒に車内事故防止の取組を進めていきたい。- 市には、拠点(多摩センター駅のターミナル)整備をお願いしたい。案内板の運営や休憩施設のリニューアル(トイレをきれいになど)を検討してほしい。- GTFS-RT を整備している。- 他エリアでは順次、共同運行を解消している。営業所の位置や各路線の利用状況などを鑑みて、調整している。 |

(2)神奈川中央交通(株)

| 会社概要(人員・車両台数など) |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">- 多摩営業所の乗務員数は 124 名である。- 乗務員は不足しており、応募数も減っている。特に多摩地域は厳しい状況。- 平均年齢が 53 歳であり、今後乗務員不足がさらに深刻化する可能性がある。 |
| 公共交通の現状・問題点 |
| <ul style="list-style-type: none">- 2024 年問題があり、人手不足が深刻化している。- 市内は一定の収支が見込まれる区間もあるため、人手があればネットワークを維持することができる。- 共同運行路線の一部では、供給過多になっている区間があるため、見直しを検討していきたい。- 営業所から多摩市までの距離が長く、運行効率が悪くなるケースがある。- 運賃改定の実施や燃料費高騰などによって、支出が高くなっているが、シルバーパスの補てん額が変わらないため、負担が増えている。 |
| その他(連携施策など) |
| <ul style="list-style-type: none">- キャッシュレス化を進めることで、経費削減を図りたい(現状は現金支払いが 1 割)。 |

(3)飛鳥交通ニュータウン(株)

| 会社概要(人員・車両台数など) |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">- 乗務員は 158 名である。- 車両台数は 97 台であり、車両台数に対して、乗務員が不足している状況である。- 平均年齢は、およそ 59 歳である。- 多摩センター駅、永山駅を中心に営業している。 |
| 公共交通の現状・問題点 |
| <ul style="list-style-type: none">- 早朝は通勤利用、朝時間帯は通院利用、夕方～終電までは帰宅利用が多い。- 11 時～15 時頃は、比較的利用が少ない。- 短距離での利用が多い。- 23 区方面への利用も一定程度みられる。- 3 分の2が乗り込み客、残りは配車による利用である。- 新型コロナウイルス感染症拡大後、利用者数がやや増加した。- 多摩市内は、利用者のマナーが良い。- 普段は、供給が間に合っているが、雨天時は供給が不足する。- 多摩センター駅はタクシー乗り場が分かりにくい。- 道路が狭い場所では、安全に乗降することができない。 |
| その他(連携施策など) |
| <ul style="list-style-type: none">- 短編映画を作成し、PR を行っている。- 災害時輸送について連携ができないか。災害時輸送の発令を誰がやるのかを明確にする必要がある。 |

(4)小田急交通南多摩(株)

| 会社概要(人員・車両台数など) |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">- 乗務員は 100 名である。- 車両台数は 63 台であり、車両台数に対して、乗務員が不足している状況である。- 平均年齢は、およそ 58 歳である。- 約半数が多摩市の多摩センター駅を中心に営業している。 |
| 公共交通の現状・問題点 |
| <ul style="list-style-type: none">- 朝時間帯は通勤・通学・通院利用、日中は通院利用が多い。- 終電～始発は、利用が少ない。- 短距離での利用が多い。- 多摩市内に配車しにくい地域はない。- 外国人観光客の利用も増えてきている。- 乗り込み客が多い。配車利用のうち、Go アプリでの配車が 7 割を占めている。- 多摩市内は、利用者のマナーが良い。- 普段は、供給が間に合っているが、雨天時は供給が不足する。 |
| その他(連携施策など) |
| <ul style="list-style-type: none">- 団地内や近隣センター等にタクシー待機場所があると、団地の配車に対応しやすい。- 以前、合同の会社説明会を実施したが、それによる効果あまり見られなかった。- 営業区域外の利用もあるため、多摩地区(北多摩地区・西多摩地区・南多摩地区)の営業区域が統合されると回送を減らすことができる。- 新百合ヶ丘でデマンド交通の運行を担っていたが、オペレーション等の問題はなく運行できた。- 多摩市内で、白タク行為と思われる車両を見かけることがある(成田ナンバーの車両等)。 |

(5)京王自動車(株)

| 会社概要(人員・車両台数など) |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">- 多摩中央営業所の乗務員は 137 名である。- 車両台数は 72 台であり、車両台数に対して、乗務員が不足している状況である。- 平均年齢は、およそ 57 歳である。- 多摩市の面積に対して、車両台数が多い。- 聖蹟桜ヶ丘駅、多摩センター駅、永山駅を中心に営業している。 |
| 公共交通の現状・問題点 |
| <ul style="list-style-type: none">- 曜日による繁閑はあるが、時間帯による需要の変化はあまりない。- リモート勤務などが浸透し、移動の総量が減っているように感じている。- 高齢者によって日常的に利用されており、午前中の通院や日中の買い物などの利用が多い。- 短距離での利用が多い。- 多摩市内に配車しにくい地域はない。- 乗り込み客・配車利用の割合は半々である。配車利用のうち Go アプリでの配車は約 3 割である。- 多摩市内は、比較的、利用者のマナーが良い。- 基本的には、供給が間に合っているが、雨天時は供給が不足する。聖蹟桜ヶ丘駅のタクシー乗り場においても瞬間的に供給が不足することもある。 |
| その他(連携施策など) |
| <ul style="list-style-type: none">- 求人広告は、手数料がかかるため、市の広報等で求人情報を掲載することができないか。- デマンド交通が導入された場合でも、タクシーの利用者層と異なるため、競合しないものと思われる。 |

8. 地域別意見交換会

(1)開催概要

地域別意見交換会の開催概要については以下のとおり。

表 地域別意見交換会の実施概要

| | | |
|-------|---|--|
| 実施目的 | <ul style="list-style-type: none"> ● 地域住民の移動実態(移動の変化も含めて)・困りごと・求められる交通サービスの要因等を整理するため、地域別意見交換会を開催した。 ● 把握した内容を踏まえて、想定課題の設定・アンケート調査設計に活用した。 | |
| 日時・場所 | 永山 | 11月18日(月)18時30分～ ベルブ永山5階ベルブホール |
| | 聖蹟桜ヶ丘 | 11月22日(金)18時30分～ ヴィータ・コミュニネ 8階 関戸公民館大会議室 |
| | 多摩センター・唐木田 | 11月30日(土)10時00分 中央図書館・活動室1 ※手話通訳あり |
| 対象者 | 市民 ※子育て世帯や高齢者団体等に参加呼びかけを実施 ※広報紙・市HP・路線バス車内・ミニバス車内等で告知し、参加自由とした。 | |
| プログラム | <ul style="list-style-type: none"> ■開会 <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から挨拶、趣旨説明(計画策定の背景や目的、地域別意見交換会の位置付け)、当日の流れの説明を行った。 ■多摩市の現状 <ul style="list-style-type: none"> ・人口分布、施設分布状況を共有した。 ・想定される問題点・課題を説明した。 ■公共交通に関する取組事例の紹介 <ul style="list-style-type: none"> ・意見交換時の参考にしていただくために、公共交通の取組事例を紹介。 ■意見交換 <ul style="list-style-type: none"> ・参加者の居住地区を踏まえ、班をつくる。班ごとに簡単な自己紹介 ・地区内住民の「移動状況」「移動における困りごと」を発言いただいた。 ・挙げられた意見や事例を踏まえて、公共交通の改善アイデアを検討 ・最後に各班で結果発表を行った。※複数班ある場合 | |
| 作成資料 | <ul style="list-style-type: none"> ・現況整理結果 ・地域別現状マップ(人口メッシュ・バスルート・主要施設等を記載) | |
| 留意点 | <ul style="list-style-type: none"> ・参加者が発言しやすいよう、1グループの人数は7人前後とした。 ・資料中には専門用語の記載を避け、分かりやすい言葉を使用した。 | |

(2)開催結果

(1)参加状況

市内3地区における合計参加者数は計 20 人であった。

各回における参加状況は次のとおり。

結果概要および今後の方向性は、次ページのとおり。

表 各回における参加者数

| 開催日時・場所 | 参加者数 |
|---|------|
| ■2024年11月18日(月)18時30分～ 永山地区(ベルブ永山) | 9人 |
| ■2024年11月22日(金)18時30分～ 聖蹟桜ヶ丘地区(関戸公民館) | 7人 |
| ■2024年11月30日(土)10時30分～ 多摩センター・唐木田地区(多摩市立中央図書館) | 4人 |



開催の様子(永山地区)



開催の様子(聖蹟桜ヶ丘地区)



開催の様子(多摩センター・唐木田地区)

(2)永山地区

■地域の移動状況・困りごと

- 歩道が狭くて、ベビーカーがすれ違えない
- 自転車が車道を通りにくい
- 幹線道路の整備が必要。
- 高低差があるため、バス停まで行きにくい
- 渋滞があり、スクールバスの到着が遅れることがある
- スクールバスに乗り切れない時がある
- 一般タクシーは値段が高いため、子育て時でも利用しにくい
- シルバーパスはとても便利。
- 在宅ワークが増えており、外出は減っている
- 行動範囲はコロナ流行時よりも広がっている
- 永山駅周辺はお店が減っているため、駅までの外出は減っている。
- 自家用車で仕事に行くことが多い。
- 都心に行く時は鉄道を使っている。
- 近くのスーパーに行く時は自転車を使う。
- 多摩市は、自家用車がなくても暮らしやすい
- 普段は徒歩・自転車で過ごしているが、土日は自家用車を使う。
- 宅配サービスも使うことも多い。
- 子供の送迎は車を使うことが多い。

■市内の公共交通に対する意見・要望

<路線バスについて>

- 路線バスは混雑していて、ベビーカーだと使いにくい。
- 永山駅から市役所までのバスが少なくて困っている。
- 旧・貝取小学校までのバスはお年寄りの利用で混雑している。

<ミニバスについて>

- ミニバスは朝時間帯混雑している。

<その他>

- 南北をつなぐ交通ネットワークが弱い。
- 市外と市内をつなぐ道路が弱い。

■地域に求められる交通サービス

- 聖蹟桜ヶ丘、多摩センター、永山を結ぶバスがあると良い。
- ミニバスを団地内まで走らせて欲しい。
- 自家用車が減って、団地内の駐車場が余っているため、バス乗降場所として活用できないか。
- 聖蹟桜ヶ丘駅周辺は、保育施設が少ないため、桜ヶ丘から永山方面までの子育て世帯による移動ニーズがあるのではないか。
- 子育てに特化した公共交通があると便利なのではないか。

- 子育てタクシーがあると良いのではないか。
- デマンド交通は高齢者にとっては、良いのではないか
- スマートフォンを利用できる高齢者が増えた場合は、アプリ配車も使いやすいのではないか。
- シルバーパスがあるので、デマンド交通は使われないのではないか。
- デマンド交通は予約が手間に感じる
- スーパーまでの移動支援をしてほしい。
- 団地を移動するバスが必要。

■その他

- 子育てしやすい街になれば、市外からの移住者も増えるのではないか。
- 永山は子供の数が減少している
- 目的地となるような新しい拠点を作る必要もあるのではないか。

(3) 聖蹟桜ヶ丘駅

※参加者全員が桜ヶ丘在住であった

■地域の移動状況・困りごと

- 桜ヶ丘は、自家用車がないと生活しにくい。
- 普段は自家用車で移動することが多い。
- 近場であれば、徒歩や自転車で移動する。
- 上り坂が大変なので、バスを利用することもある。
- 桜ヶ丘は高低差があり、特に高齢者は地域内の移動が大変である。
- 普段は、聖蹟桜ヶ丘駅や永山駅で用事を済ませている。
- 家族や知人の送迎で移動している高齢者も多いが、今後も誰かに送迎を頼めるかが分からず不安を抱えている。
- 70代はまだ移動に困っている人も少ない。80代半ばから移動に困ることが多い。
- 高低差があり、バス停まで歩くのが大変である。

■市内の公共交通に対する意見・要望

<ミニバスについて>

- 朝晩は混雑するが、日中はガラガラであるため、需要と供給のマッチングを図る必要があるのではないか。
- ミニバスで行きたい場所に行けない。

<一般タクシー>

- 時間帯を問わず、タクシーがつかまらないことが多い。

■地域に求められる交通サービス

- 自宅近くで乗車できるようなサービスが望ましい。
- 既に家族送迎・知人送迎をしている状況であるので、ボランティア輸送のような支え合いの交通サービスが合うのではないか。地域貢献・お小遣い稼ぎになるので、有効ではないか。
- デマンド交通は、運行にお金がかかるので、慎重に検討することが必要である。
- 移動需要や財政負担を考えると、タクシー助成が妥当ではないか。

■その他

- 交通弱者の移動状況を詳細に分析した方が良いのではないか。

(4)多摩センター・唐木田地区

■地域の移動状況・困りごと

- 近所のお出かけは徒歩や自転車で済ませることが多い。
- 聖蹟桜ヶ丘に行くこともある。
- 京王堀之内駅や南大沢など、市外へのお買い物もある。
- 子供に送迎してもらうこともある。
- 月に1~2回は宅配サービスも使っている。
- スーパーに行けないから、宅配サービスを使っているわけではない。
- 図書館が新しくできたため、図書館に行くことが増えた。
- ミニバスを使って、南部地域病院などに通院している。
- 坂があるため移動が大変である。
- 自転車道が連続していないため、自転車で移動がしにくい。
- 速度の速い電動自転車が歩行者専用道を走っていて、危ないと感じる。

■市内の公共交通に対する意見・要望

<路線バスについて>

- 路線バスは夜の便が少ない。
- 路線バスが遅れてしまうことがある。
- 帰りのバスがない。
- 町田方面などに公共交通で行きにくい。
- バスの乗り降りが大変。

<ミニバスについて>

- ミニバスは本数が少ないと感じる。

<その他>

- 坂が多いので、家の近くで乗車できるようにしてほしい。
- 広域の移動をしやすくしてほしい。
- バスの乗り換えをしやすくしてほしい。

■地域に求められる交通サービス

- 視覚的にわかりやすい情報発信を検討できないか。
- 聴覚障害があるため、バスのアナウンスがわからない。字幕表示等があるとわかりやすいのでは。
- 乗務員が話している内容をリアルタイムで文字化する機械を導入できないか。
- 遅延情報がわかると良いのではないか。
- 新しい交通サービスを導入する際に、障害者団体に聞き取りを行って、障害のある人でも利用しやすい環境づくりができないか。

■その他

- 移動クリニックなども考えられるのではないか。
- 都市整備と連携した交通サービスを考えて欲しい。

(3)当日配布資料
(1)多摩市の現況

多摩市の「公共交通」に関する
意見交換会



多摩市 道路交通課
2024年11月18日・22日・30日

①開会

事務局紹介

多摩市 都市整備部 道路交通課

コンサルティング事業部
石田 洋平、城平 徹、五十嵐 裕音

②趣旨説明

多摩市では 次期多摩市交通マスタープラン を作成中です

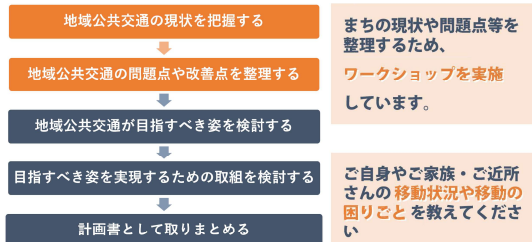
次期多摩市交通マスタープランは、
地域にとって「より良い公共交通サービスの姿」を示し、
その実現に向けて実施するべき取組等を記載するものです。
※公共交通とは、鉄道・路線バス・ミニバス・タクシー等を指します。



②趣旨説明

多摩市では 次期多摩市交通マスタープラン を作成中です

<作成の流れ>



本日の流れ

- ① 開会
- ② 趣旨説明
- ③ 多摩市地域公共交通の現状と課題
- ④ 公共交通に関する他市の事例
- ⑤ 意見交換
<テーマ>
・ 普段の移動状況
・ 移動における困りごと
・ 望ましい公共交通サービス
- ⑥ 閉会



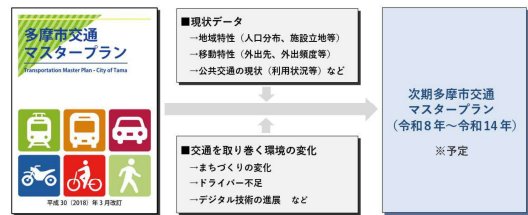
- ① 開会
- ② 趣旨説明
- ③ 多摩市地域公共交通の現状と課題
- ④ 公共交通に関する他市の事例
- ⑤ 意見交換
<テーマ>
・ 普段の移動状況
・ 移動における困りごと
・ 望ましい公共交通サービス
- ⑥ 閉会



②趣旨説明

多摩市では 次期多摩市交通マスタープラン を作成中です

多摩市交通マスタープランをベースに環境の変化等を踏まえて、次期多摩市交通マスタープランの策定を行います。



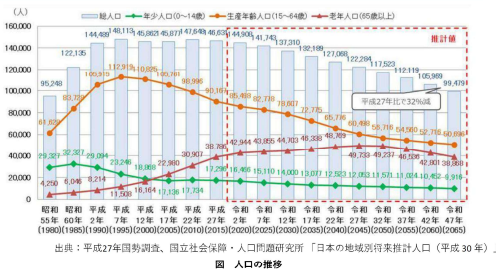
- ① 開会
- ② 趣旨説明
- ③ 多摩市地域公共交通の現状と課題
- ④ 公共交通に関する他市の事例
- ⑤ 意見交換
<テーマ>
・ 普段の移動状況
・ 移動における困りごと
・ 望ましい公共交通サービス
- ⑥ 閉会



③多摩市地域公共交通の現状と課題

人口動態

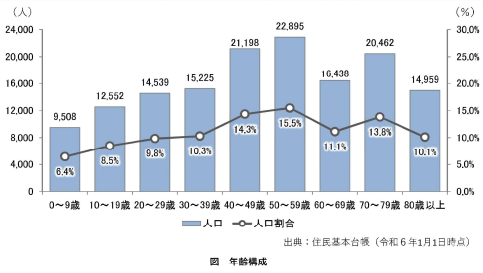
人口は減少傾向にあり、今後も微減すると推計されています。



③多摩市地域公共交通の現状と課題

年齢構成

年齢構成をみると、40代～50代が特に多い。
70代以上の人口は23.9%である。



③多摩市地域公共交通の現状と課題

地区別の高齢化率

地域別の高齢化率をみると、
多摩センター駅南側・永山駅南
側において高齢化が進行してい
る。

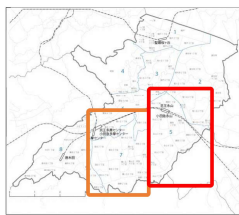


表 地域別年齢別人口

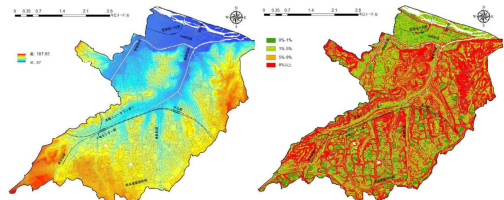
| | 第1地区 | 第2地区 | 第3地区 | 第4地区 | 第5地区 | 第6地区 | 第7地区 | 第8地区 |
|--------|--------|--------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 0～14歳 | 1,743 | 2,377 | 1,119 | 1,846 | 2,615 | 1,438 | 2,067 | 2,335 |
| 15～64歳 | 11,372 | 12,520 | 5,889 | 9,763 | 14,555 | 9,608 | 12,734 | 12,375 |
| 65歳以上 | 3,577 | 5,359 | 2,754 | 3,964 | 8,333 | 4,277 | 9,903 | 5,253 |
| 人口 | 16,692 | 20,256 | 9,762 | 15,573 | 25,503 | 15,323 | 24,704 | 19,963 |
| 高齢化率 | 21.4% | 26.5% | 28.2% | 25.5% | 32.7% | 27.9% | 40.1% | 26.3% |

出典：住民基本台帳（令和6年1月1日時点）

③多摩市地域公共交通の現状と課題

地形状況

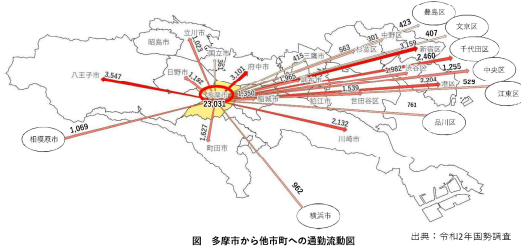
起伏が大きく、坂も多い地形である。



③多摩市地域公共交通の現状と課題

通勤状況

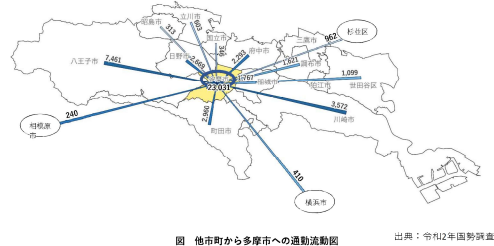
市外への通勤は 八王子市、府中市、23区が多い



③多摩市地域公共交通の現状と課題

通勤状況

通勤による市外からの流入は 八王子市、川崎市が多い



③多摩市地域公共交通の現状と課題

通学状況

市外への通学は 八王子市、世田谷区が多い



③多摩市地域公共交通の現状と課題

通学状況

通学による市外からの流入は 町田市、八王子市が多い



③多摩市地域公共交通の現状と課題

人口分布

市全域に人口が分布している。
特にニュータウンエリアや駅周辺に人口が集積している。

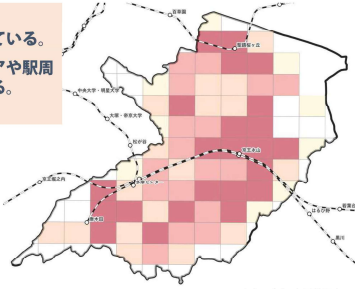
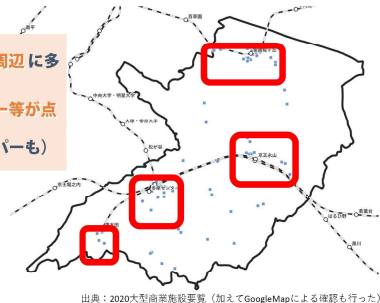


図 人口分布 出典：令和7年国勢調査 17

③多摩市地域公共交通の現状と課題

商業施設の立地状況

商業施設は、**鉄道駅周辺**に多く集積している。
住宅地内にもスーパー等が点在している。
(一部閉業するスーパーも)

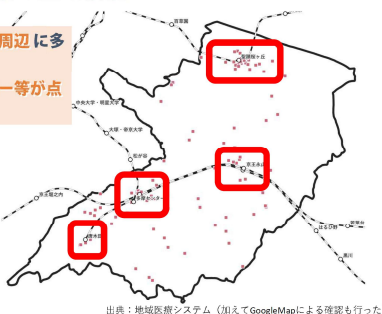


出典：2020大府商業施設実態 (加えてGoogleMapによる確認も行った) 18

③多摩市地域公共交通の現状と課題

医療施設の立地状況

医療施設は、**鉄道駅周辺**に多く集積している。
住宅地内にもスーパー等が点在している。

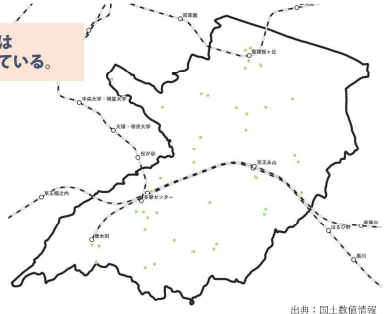


出典：地域医療システム (加えてGoogleMapによる確認も行った) 19

③多摩市地域公共交通の現状と課題

公共施設の立地状況

公共施設は**各地域**に点在している。

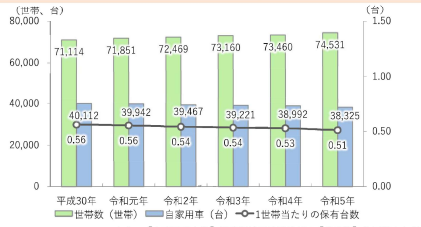


出典：国土数値情報 20

③多摩市地域公共交通の現状と課題

自家用車保有台数 (自家用車利用状況)

1世帯あたりの自家用車保有台数は、**0.51台/世帯**であり、**自家用車を持たない世帯**もみられる。

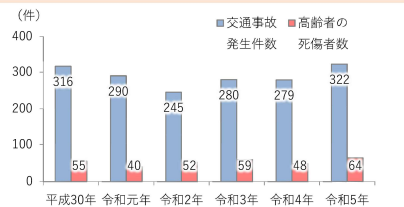


出典：【自家用車台数】関東運輸局統計情報 / 【世帯数】住民基本台帳 21

③多摩市地域公共交通の現状と課題

交通事故発生件数

多摩市内の交通事故発生件数は**322件**であり、**高齢者の死傷者数は64件**となっており、**微増傾向**である。



出典：警視庁提供資料 22

③多摩市地域公共交通の現状と課題

公共交通ネットワーク

市内には**多様な公共交通**が運行している。

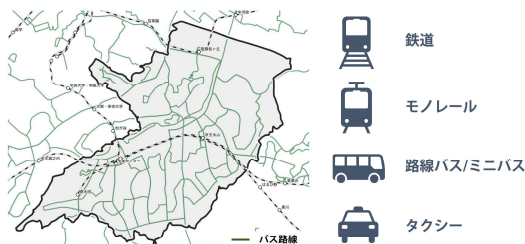
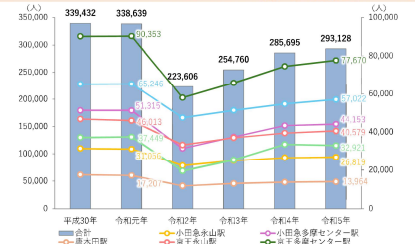


図 公共交通ネットワーク 23

③多摩市地域公共交通の現状と課題

鉄道利用者数 (1日あたり)

1日あたりの鉄道利用者数は、**約29万人**であり、**新型コロナウイルスによる利用減から徐々に回復**している。



出典：交通事業者提供資料 24

③多摩市地域公共交通の現状と課題



路線バス利用者数（1日当たり）

1日あたりの路線バス利用者数は、約4万8千人であり、新型コロナウイルスによる利用減から徐々に回復している。



図 1日あたりの路線バス利用者数 出典：交通事業者提供資料

25

③多摩市地域公共交通の現状と課題



ミニバス利用者数（1日当たり）

1日あたりのミニバス利用者数は、約1,900人である。コロナ前の水準まで利用が回復している。



図 1日あたりのミニバス利用者数 出典：多摩市

26

③多摩市地域公共交通の現状と課題



運転士数（全国）

交通事業者においては、運転士不足が深刻化しており、都市部においても減便を余儀なくされている。

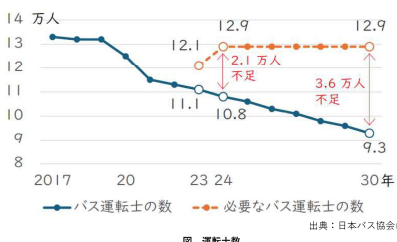


図 運転士数 出典：日本バス協会による試算

27

③多摩市地域公共交通の現状と課題



大型二種免許保有者数（全国）

令和5年時点の大型二種免許保有者数は、約78万人であり、平成30年から減少傾向である。

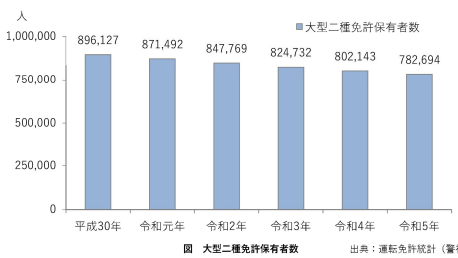


図 大型二種免許保有者数 出典：運転免許統計（警視庁）

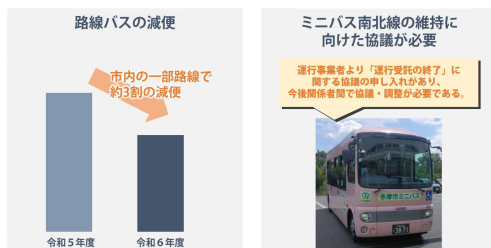
28

③多摩市地域公共交通の現状と課題



市内における減便等の状況

市内では、人手不足によって路線バスの減便・ミニバス南北線の維持が困難な状況である。



29

③多摩市地域公共交通の現状と課題



想定される多摩市地域公共交通の課題

- ① 各地域から鉄道駅までの移動手段の維持・確保
- ② 近距離のおでかけを支える公共交通手段の確保
- ③ 自転車の利用環境の向上
⇒ 走行環境の整備、駐輪場スタッフの確保（または無人化の検討）など
- ④ 人手不足を踏まえた公共交通ネットワークの構築
⇒ 市内の公共交通サービスについて、維持すべきサービスの明確化
- ⑤ 公共交通サービス同士の連携強化
- ⑥ まちづくりと連動した公共交通サービスの提供

30

④公共交通に関する他市の事例

🚗 ご紹介する事例 🚗

- デマンド交通（予約型乗合タクシー）
- ボランティア輸送
- 小型モビリティサービス
- タクシー利用料金の助成
- その他（利用環境整備、デジタル活用など）

32

- ① 開会
- ② 趣旨説明
- ③ 多摩市地域公共交通の現状と課題
- ④ 公共交通に関する他市の事例
- ⑤ 意見交換
＜テーマ＞
・ 普段の移動状況
・ 移動における困りごと
・ 望ましい公共交通サービス
- ⑥ 閉会



31

④ 公共交通に関する他市の事例



■デマンド交通（予約型乗合タクシー）

予約に応じて運行する公共交通サービスです。利用者が予約した時間帯に指定した乗降場所を運行します。同じ時間帯に複数の利用者がいる場合は、乗合で運行します。

- ☑ **メリット**：自宅近くで乗降できる / 無駄な運行を減らすことができる等
- ☒ **デメリット**：利用の際に予約が必要になる / 利用者が少ない場合は費用対効果が悪くなる等



図 デマンド交通の運行イメージ
出典：三浦市ホームページ

33

④ 公共交通に関する他市の事例



■ボランティア輸送（静岡県森町）

地域の方がドライバーになり、地域の方を輸送するサービス。運賃は実費相当（燃料費）程度。

- ☑ **メリット**：安価で移動できる / 車内でコミュニケーションが生まれやすい等
- ☒ **デメリット**：プロではない運転手による運行 / 利用時に気を遣う等

費用は ガソリン代のみ

1週間前までに 申込み

移動のみの交通

平日 8:30~17:15

ボランティアさんの 車を使用

行き先は 町内に限定

月2回まで 利用可

会員登録 (保険加入)

移動支援を利用したい方

- 65歳以上で運転免許持っていない、または運転免許なし
- 要介護2〜3程度を受けていない人
- 市内に移動する必要がある人

移動支援ボランティアをしたい方

- 移動支援に興味を持ち、ボランティア活動に参加したい人
- 要介護2〜3程度を受けていない人
- 移動支援活動に必要となる保険に加入している人
- 運転から集めた運賃を新機にしたい人

34

④ 公共交通に関する他市の事例



■小型モビリティのレンタルサービス

小さな需要に対応する小型の交通サービスに関する取組も進んでいます。

- ☑ **メリット**：近距離の移動がしやすい / 細い道でも移動できる等
- ☒ **デメリット**：雨天時に利用しにくい / 適切な管理が必要（いたずら防止など）等

- ☐ 小型電動車両
- ☐ 電動車いす
- ☐ 電動キックボード



35

④ 公共交通に関する他市の事例



■タクシー料金の助成

移動手段を持たない75歳以上の高齢者世帯や、運転免許証を自主返納した高齢者へ、買い物や通院など日常生活の移動支援のために、タクシー利用料金を助成している。

- ☑ **メリット**：なじみのある交通であるため利用しやすい / 経済的負担の軽減等
- ☒ **デメリット**：利用回数に制限がある / 申請手続きが必要等

| 項目 | 内容（一例） |
|-------------|---|
| 助成額 | ひと月あたり3枚の利用券を一括交付（1枚につき500円） |
| 交付枚数の変動 | 申請月により、交付枚数が変わる（例：4月36枚、5月33枚、6月30枚...） |
| 利用枚数の制限 | 1回の利用枚数の制限はなし |
| 運賃超過時の利用券利用 | 運賃を超えた額のタクシー券の利用も可能（ただし、おつりは出ない） |

36

④ 公共交通に関する他市の事例



■その他の取組

- ☐ 利用環境の整備
- ☐ デジタル技術の活用（アプリ予約など）

利用環境の整備

☐ 公共交通に関する情報発信

デジタル技術の活用（アプリ予約など）

呼ぶ
アプリまたは電話で配車リクエスト
※乗客希望の目的地から乗降場所（アプリからの検索結果による）を指定し利用可能

来る
指定されたターミナルポイントと乗降場所をチェック！

来る
ドライバーに予約番号を伝え乗車
※乗車には乗車券の提示が必要

払う
乗車時に運賃も支払い
※乗降場所から乗降料金を支払う

37

- ① 開会
- ② 趣旨説明
- ③ 多摩市地域公共交通の現状と課題
- ④ 公共交通に関する他市の事例
- ⑤ 意見交換
＜テーマ＞
・ 普段の移動状況
・ 移動における困りごと
・ 望ましい公共交通サービス
- ⑥ 閉会



38

⑤ 意見交換

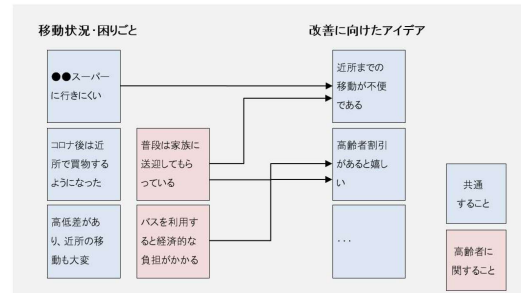
■意見交換の進め方

- ① 班ごとに簡単に自己紹介【1人1分程度】
(名字・お住まいの地区・普段の公共交通の利用状況等)
 - ② テーマに沿って意見交換【約40分】
事務局が進行します
- | テーマ | 意見の例 |
|---------------------------------|--|
| ご自身や地域住民の移動状況 | 普段は●●スーパーに自家用車で行く。通院は、●●病院に家族の送迎で行く。 |
| 移動における困りごと | 坂が多くて、近くのスーパーまで行くのも大変。 |
| 望ましい公共交通サービスや改善アイデア、求められるサービス水準 | 取組事例で紹介された●●サービスは使ってみよう。せめて、土日の午前中だけでも●●スーパーまで行けるようにしてほしい。 |
- ③ 意見交換結果の発表【約10分】

39

⑤ 意見交換

■意見交換の成果イメージ



40

⑤意見交換

🗨️ 意見交換時の注意事項

- ① 自分と異なる意見を尊重する
→他人の意見を否定しない
- ② 話している人の意見を最後まで聞く
→話をさえぎらない
- ③ 発言は、なるべく簡潔にまとめる
→「伝えたいこと」「その理由」を話すことを意識する
- ④ 攻撃的な言葉を避ける
→個人への批判や、感情的な言葉遣いは避ける
- ⑤ わからない点等があれば、いつでも質問してください

41

- ① 開会
- ② 趣旨説明
- ③ 多摩市地域公共交通の現状と課題
- ④ 公共交通に関する他市の事例
- ⑤ 意見交換
＜テーマ＞
 - ・ 普段の移動状況
 - ・ 移動における困りごと
 - ・ 望ましい公共交通サービス
- ⑥ 閉会



42

⑥閉会

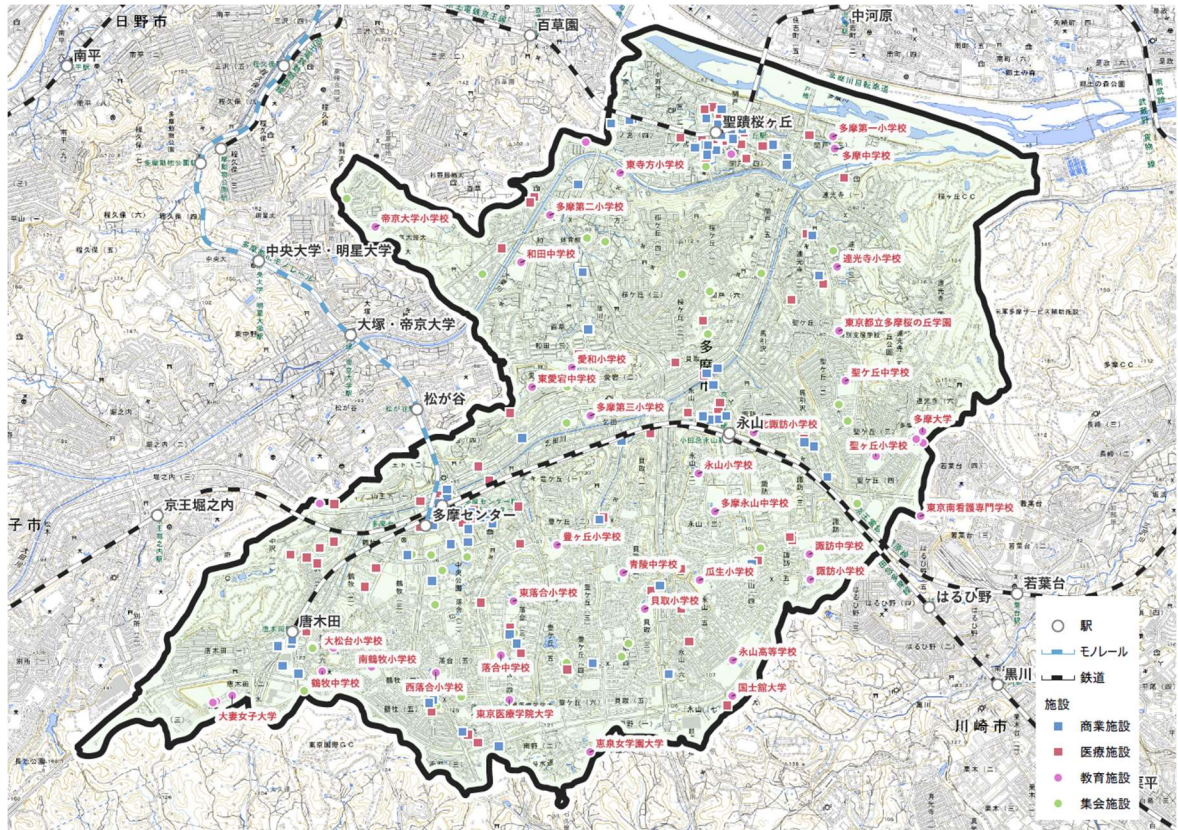
本日はご参加いただき、
誠にありがとうございました。

本日いただいたご意見を踏まえ、
皆様の生活を便利にするための公共交通サービスの検討を
進めてまいります。

本日、伝えきれなかったご意見がある場合は、
会場内の職員にお話しいただくか、
多摩市道路交通課までご連絡ください。

43

(2) 現況図



9. オープンハウス

(1)調査概要

| | |
|-----------|---|
| 実施目的 | 市民に次期多摩市交通マスタープランの内容を周知し、「施策・事業の優先度や改善点」等を市民目線から確認するために、オープンハウスを実施した。 |
| 実施方法 | 市内各地域の中で、来訪者が多い施設などでパネル展示を行い、来場者に対して説明を行う。説明後にアンケート調査へのご協力を依頼した。 |
| 実施場所・実施日時 | <p>実施場所の案は下記のとおり。市内3か所で各1日ずつ実施予定。公共交通利用者(通勤・通学者)の声も収集するため、15時～20時の実施とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○多摩センター・唐木田地区 場所:多摩センター駅前(ペDESTリアンデッキ上) 日時:令和7年9月26日(金)15時～20時 ※日没後(17時30分頃)は、駅前ロータリーで実施 ○聖蹟桜ヶ丘地区 場所:関戸公民館7階 ギャラリー 日時:令和7年9月29日(月)15時～20時 ○永山地区 場所:グリナード永山2階 催事スペース(どんぐり広場) 日時:令和7年9月30日(火)15時～20時 |
| 対象者 | 地域住民 ※自由参加 |
| 作成資料 | <ul style="list-style-type: none"> ・次期多摩市交通マスタープランについて(パネル展示) ・次期多摩市交通マスタープランについて(配布用パンフレット) ・来場者アンケートパネル ⇒施策事業のうち重視してほしいもの、改善点を回答してもらう |
| 留意点 | <ul style="list-style-type: none"> ・パネルの内容は端的に整理する。 ・パネルの内容をパンフレットにまとめ配布する。 ・内容が視覚的に伝わるように図表を多く配置する。 |

(2)展示パネル

パネル構成および掲載内容は、下記のとおり。

パネルサイズは A0 サイズ(118.9cm×84.1cm)とした。

| No. | タイトル | 掲載内容 |
|-------------|---------------------|--|
| 1 | オープンハウスの趣旨 | ○オープンハウスの趣旨 ○展示内容 |
| 2 | 多摩市の移動に関する現状 | ○市民および来訪者の移動状況 ○公共交通ネットワーク網および利用状況 |
| 3 | 多摩市の公共交通が 目指す将来像 | ○上位・関連計画 ○多摩市の公共交通が目指す将来像 |
| 4 | 計画の目標 | ○目標①～④ |
| 5 | 目標達成に向けた課題 | ○広域交通に関する課題 ○幹線交通に関する課題 ○地域密着型交通に関する課題 ○交通結節点に関する課題 |
| 6 7 8 | 課題解決に向けた取組み | ○施策・事業 |
| 9 | ミニバスの再編について | ○ミニバスの現状・ミニバス再編の方向性 |
| 10 | ミニバスの再編について | ○ミニバス再編案 |

(3)パンフレット

パネルの内容を簡易製本(A4 サイズまたは B5 サイズ・中綴じ製本)したものを配布した。

(4)来場者アンケート

(1)把握項目




来場者に対して、口頭による意見聴取やアンケート用紙への記入によるアンケートを実施し、下記内容を把握した。

表 把握項目

| 把握項目 | 設問・選択肢 | 意図 |
|-------------------|---|--|
| 施策・事業の 妥当性・重要度 | 【設問1】 実施事業(パネル No.6-8)についてお聞きします。 実施事業のうち、あなたが重要だと思うものにシールを貼ってください。 | 実施事業について、生活者目線での妥当性・重要度を把握する。 シール枚数を踏まえ、実施事業の優先順位検討に活用する。 |
| 施策・事業の 改善点 | 【設問2】 実施事業(パネル No.6-8)についてお聞きします。 実施事業をもっとよくなるためのアイデアや改善点を教えてください。 | 施策事業の改善点やアイデアを収集する。 |
| ミニバスの再編 について | 【設問3】 ミニバスの再編について、ご意見等がございましたら、教えてください。 | ミニバスの再編について、利用者目線での意見を把握する。 |

来場者アンケート

問 1 次のうち重要だと思う事業にシールを貼ってください。

| | | |
|---|---|---|
| 事業1 ○○ | 事業2 ○○ | 事業3 ○○ |
|  |  |  |

問2 ●●についてのアイデアを自由にご書いてください。(既出のアイデアでも構いません。)

| | | |
|------------|------------|------------|
| ●●を したい | ●●を したい | ●●を したい |
|------------|------------|------------|

● 15歳未満
● 16歳～64歳
● 65歳以上

図 アンケートパネルのイメージ

(2)実施結果

2-1)来場者数

3日間の来場者数は、下記のとおり。

表 来場者数

| 場所 | 多摩センター駅 | 聖蹟桜ヶ丘 | 永山 |
|-----------|---------|--------|---------|
| パンフレット配布数 | 180 枚 | 39 枚 | 246 枚 |
| 来場者数(推計) | 約 300 人 | 約 50 人 | 約 350 人 |

1 日目(多摩センター駅前)



2 日目(関戸公民館 7 階)



3 日目(グリナード永山どんぐり広場)



図 当日の様子

2-2)アンケート結果(概要)

アンケート結果および計画書への反映方法は次のとおり。

表 結果概要

| 主な意見 | | 計画書への反映 |
|------|--|---|
| 問1 | 事業3(公共交通の担い手確保・環境整備)、事業4(ミニバスの再編)に回答が多く集まった。 | 結果を踏まえながら、優先的に実施する事業を重点事業として設定した。 |
| 問2 | 団地の空きスペースを活用して、カーシェアを導入できないか。 | 事業6(マイクロモビリティの導入検討)導入場所の例として、団地空きスペースを活用する旨を追記。 |
| | 乗り継ぎ時には、運賃が高くないことが重要ではないか。 | 事業7(公共交通同士や多様な移動手段との連携強化)の取組内容に「乗継割引の検討」を追記。 |
| 問3 | (意見詳細は次ページ以降を参照) | (今後のミニバス再編等に活用) |

2-3)アンケート結果(詳細)

【問1】重要だと感じた事業

- 事業3(公共交通の担い手確保・環境整備)、事業4(ミニバスの再編)に回答が多く集まった。
- その他、事業7(公共交通同士や多様な移動手段との連携強化)、事業8(公共交通の利用促進)についても一定の回答が集まった。

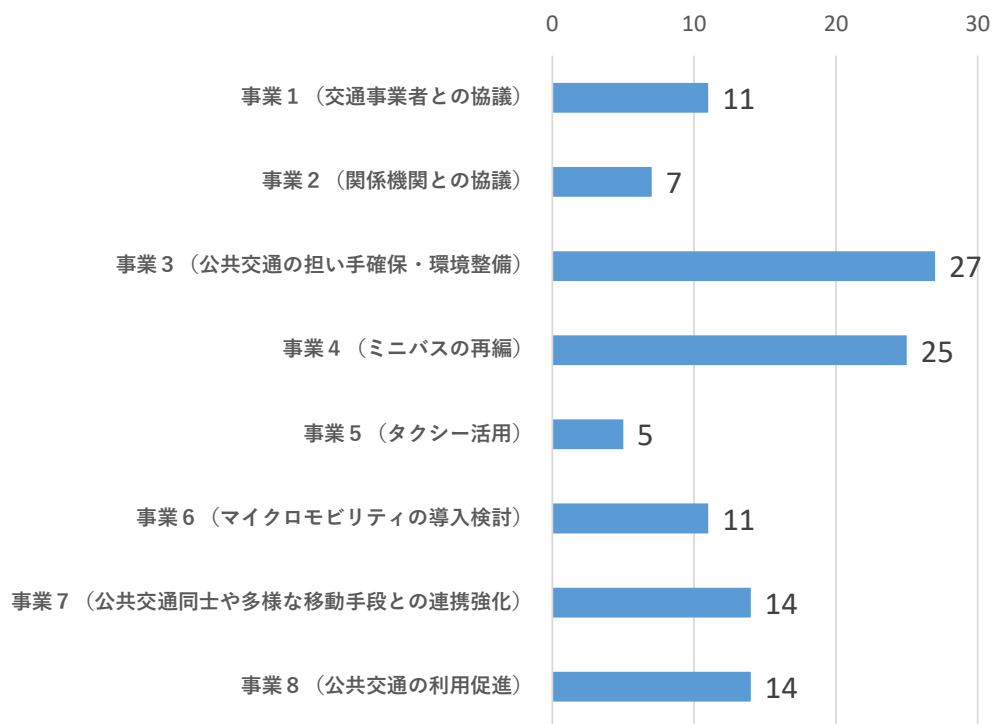


表 重要だと感じた事業

【問2】事業に対する意見や改善アイデア

いただいたご意見

- ・乗り継ぎ時には、運賃が高くないことが重要ではないか。
- ・団地空きを駐車スペースを活用したカーシェアの取り組みを進めて欲しい。
- ・路線バス同士のダイヤ調整・割引が必要だと思う。
- ・路線バスとミニバスの乗り継ぎしやすくできないか。
- ・運行事業者ごとに共通定期券があればよいと思う。例：京王なら電車、バス、タクシーなど
- ・遊歩道からバス停に降りるのが大変なので、コミセンなどのエレベーターを活用できないか。
- ・事業 3 については拘束時間も長く、給料も高くないので、正直なところ、国から補助をもらう流れを構築しないと難しい。自動運転技術については、大型に適用するのは技術的にもまだまだ不安が多く、導入することには賛同できない。
- ・乗務員確保に向けては、ドライバーの収入 UP が重要だと思う。
- ・利用者側のマナーアップすることで運転士さんが働き易くなるのではないか。個人的には、降車時にありがとうございますと言葉にして居ります。良いことは友人にも伝えていきます。クレマーにはならない様に気を付けています。
- ・運転手の給与をアップさせる。都や国に補助してもらう。高齢化でバス便は外出に大事。もっともっと充実させてほしい。
- ・運転手さんの給料を都バス並に上げて下さい。
- ・多 03 系統は、回送距離が長く、運行効率が悪いのではないか。回送時間を実車にすることで運行効率化が図れないか。
- ・市役所にアクセスしにくいので、路線バスを見直せないか。
- ・ミニバスの入口と出口との間が広いため、植栽の間が悪い。
- ・夏の暑さ対策をバス停に求めたい(ミニバス含め)
- ・ダイヤの間隔が長いので、利用したくても車に頼る人もいると考えられる。車が使えない人は、ミニバスがなくなると外出を控えてしまうのではないか。
- ・利用者、行政、事業者すべての人の当事者意識が大切だと思う。それぞれが無理せずできることを続けることが大切だと思う。
- ・バスの運転手の人員不足は運転手の待遇が悪いことが大きな原因だと思います。多摩市で運転手を確保し、委託会社に派遣することはできないでしょうか。
- ・一日乗車券対応も考えてるようですが、料金が健常者の大人向けで障がい者割引を使う人間にとっては、あまり意味がないと思う。子供や障がい者向けの一日乗車券のようなものも欲しい。無理を承知で、都も巻き込んで、都営交通も参加させてもよいかと思う。
- ・タクシーの団地内駐車場確保は初めて知りました。常時、タクシーがその場に無いとしても駐車場として駐車している事があれば利用し易くなるのではないか？(常時、停車が望ましいが) 乗務員確保が最重要である事の解消につとめていただきたいが、タクシー(団体)とミニバスの共用で路線確保、運転回数確保も考えて欲しい。外国人の問題がとやかく言われるが、労働力の確保(運転手の確保で問題が解決に向うならば)が可能ならすすめて欲しい。
- ・モニターを付けてもらえると嬉しい。
- ・シルバーパスの運用を検討してみる。ミニバスの利用者はほとんどがシルバーパス利用者なので、収入(利用者)が見えづらいのではないか。
- ・買物など、日中の利用する時間帯に便数の増便をしてほしい。
- ・貝取、豊ヶ丘の名前が付いたバス停が多くわかりにくい。地蔵堂はどここの地名かわからない。
- ・若い世代をバスに乗ってほしいと説明の人から言われたが、子どもが喜んで乗るイベントなど市民からも募ってほしい。

- ・本数をふやして下さい。
- ・東京都との交渉が必要ですが、都バスを走らせるということも考えていいのでは。多摩市に住む人も都民です。
- ・バスの本数がもう少し多ければ…。
- ・事業者との話し合い。バス利用者を増す。シルバーパスの都から補助金等を出してもらおう。
- ・愛宕ルート最終バス 17:10 は早すぎる。高齢になると駅から歩き段階での移動は厳しい。ショッピングセンターまで距離を伸ばす。＜京王＞ステップ乗降りしやすく親切に。スライドステップに変える。車イスでも乗れるようにしてほしい。
- ・幼稚園、保育園送迎バス運転手との連携。
- ・ミニバスをもっと活用できるように、CM みたいなものを流したい。SNS を利用する。
- ・オープンハウスを開催して頂いて嬉しいし、次開催するまでに考えておきたい。
- ・シェアサイクルのポート(拠点)を増やしてほしい。
- ・空き駐車場にカーシェアがあるだけでも親を病院へ連れていくとか楽になる。

【問3】ミニバスの再編に対する意見

いただいたご意見

- ・南北線が無くならなくて良かった。
- ・自分の使っている区間は減らないが、減ったところの人を考えると手放しには喜べない。
- ・中諏訪に住んでいるが、多摩センターに行くのが便利になるのでありがたい。
- ・自転車の交通安全に取り組んで！
- ・便が減ると利用者が減る
- ・6千万円、1億円は、決して高い額ではない
- ・中央図書館、もう片方にもバス停を作ってほしい
- ・エスティメール・サバービアも両方欲しい
- ・自動運転バス、昨年乗った、是非続けてほしい
- ・自動運転バス、昨年乗った、いつぐらいに実用化する？
- ・エスティメールから永山まで朝乗っている。ちょうどよい時間がなくなってしまった。
- ・鶴牧に住んでいるが、鶴牧循環があるため、ミニバスは乗っていない。
- ・愛宕は階段があつて大変である。他はなくなっても愛宕だけは残してほしい。
- ・ドライバー不足なら、ミニバスはやめて、路線バスを維持すべきだ。せめて路線バスと同じ水準の減便はすべきだ。
- ・ミニバスを続けて、路線バスがなくなったとき、ミニバスを運行できるのか。
- ・南北線はいつやめるのか、当面ではなくしっかり決めてほしい。
- ・ミニバスの収支率の目標はどうなっている？しっかり定めて、未達の際の対応を決めるべき。
- ・愛宕は路線バスが充実している、なぜ続けるのか。
- ・市の職員が大型免許を取って、京王バスに出向して支えるべき。
- ・諏訪から多摩センターに直接行けるようになる。大変助かる。
- ・循環路線より分かりやすくなる。昔一度だけ乗ったが、多摩センターいくのに大回りをして、1時間以上かかった。そういったことがなくなる。
- ・乗り込み調査は1日では足りない。曜日別でも見た方がよい
- ・通勤のために使用していて、丁度良い便が無くなりそうだが、生活スタイルの変更や徒歩など代替はあるので、このような事情では仕方ないかと思う。
- ・市で雇用し、好待遇でドライバー採用できないか。
- ・ドライバーは社会的な問題なので、市単独では難しいとも思う。国の政策として、ドライバーの確保に向けて、待遇改善などを図るべき。
- ・ドライバーは大変だと思う。ちょっと遅れただけで、文句いわれたり、クレームなど。さらに高給ではないと思うので、やりたいと思えないような社会になっていると思う。
- ・東西線、南北線のどちらも、通勤で利用している人がいるので、朝時間帯の便数を増やしてほしい。
- ・これまで通勤で利用していたが、再編後のダイヤでは通勤できないので、利用しなくなると思う。ほかにも困る人がいて、ミニバスが利用者の減少でなくなってしまうか心配
- ・ミニバス再編について説明の機会が足りていないと思う。もっと説明の機会を増やして市民の意見を反映させてほしい
- ・ミニバスの経路に市役所を増やしてほしい。高齢者が永山から市役所に行くにはのぼりで大変。
- ・ミニバスの乗務員の態度が悪い。高齢者であっても人間だから、大事にしてほしい。
- ・ミニバスに聖ヶ丘のあたりに運行経路を作ってほしい。路線バスが減便になっていて不便
- ・多摩市から乗務員に対して、もっとお金を払えば、専属でやってくれる人もいるのではないか。多摩市で難しいなら、国や東京都にも働きかけて、乗務員を確保すればいいと思う。

- ・南北線は今回なくならなくてよかったが、これを維持するために利用者を楽しませるイベントなどを開催して、市で継続できる取り組みを行ってほしい。
- ・運転手の問題を解決するために、自動運転バスの取り組みは必要だと思う。
- ・運転手不足で減便は仕方ないと思う。京王バスには給料や待遇の見直しをしてもらって、乗務員を確保できるように頑張ってもらいたい。
- ・和田方面と永山地区との交通がないので不便である。
- ・今の時間のバスがなくなると交通手段がなくなります。京王の路線バスとも時間を考えて欲しい。
- ・値上げして良いので、便数を増やしてほしい。東西線を使っている。
- ・日中はなるべく減便しないで欲しい
- ・多摩センターでの開催日に寄ると 50 分間隔のバスに乗り遅れてしまうので今日は、存続してほしいと考え、オープンハウスに参加しました。なくされると本当に困ります。
- ・新しいダイヤ案を見ると、自分が使える時間がない。特に朝 9 時前は、路線バスもないルートなので不便。本数が減るとますます利用者が少なくなるのではないかな…
- ・対話とコミュニケーション。ある意味多摩市は世界の最先端をいっていると思うので、高齢者の意見、現場で働く人の意見、お金を用意する人すべての意見をだしあうのが大切だと思います。
- ・再編そのものは素人の私には難しすぎるが、足の確保としてミニバスの路線と運転日数の確保に何としても頑張ってもらいたい。常時利用するのではないが高齢者の外への移動を確保する為に、常に運転している事が必要。
- ・豊ヶ丘 4 丁目発 8:13 のバスがなくなると通勤に使えなくなり非常に困ります。
- ・毎日ミニバスを利用しているので、これからも利用出来たいのをお願い致します。1 日の生活に必要です。
- ・京王バス・神奈中バスを永山 5 丁目より利用させて頂いています。各社共運転士さんの温かな対応が有難いです。永山駅まで乗り、多摩センターまではミニバス利用です。時間間隔が長くなった様ですが無くならず有難いです。車椅子の方にも丁寧な対応で感心しています。
- ・東西線左回りで多摩センターから唐木田 2 丁目を利用しています。再編後の唐木田循環をもう少し先までを検討願いたい。
- ・減らさないでほしい！増便をしてほしい！！高齢者の足をうばわれないうえに市の努力と市民の声をもっと聞いてほしい。
- ・行政として公共交通拡充に注力する事が必要。再編は必要と思うが、改悪とならない様、望みます。
- ・今のままで走ってもらいたい。本数減らさないでほしい。
- ・永山駅から体育館までの時間を体育館を利用しやすい時間にして下さい。体育館利用開始 9:00-11:00 利用終了、体育館利用開始 12:30-15:15 利用終了にして下さい。
- ・今以上に本数を減らさないでほしい。東西線は東西分けて便利になるのかな？
- ・南北線愛宕ルートについて、高齢者が増々ふえる中、減便はして欲しくない。永山駅発センター行きはエスティメール・サバービア前に停車せず困っている。この地域は医療、買い物など多摩センターで生活している。(日常的に)ミニバス停車でタクシーを呼ばなくて済むので年金暮らしには本当に助かる。桜ヶ丘からのバスに乗るには大変な急勾配を登らなくてはならず杖を 2 本も使う方には、とても苦しい動作になる。なんとかセンター行き停車を願いたい。
- ・事前の話し合いがあったようですが、十分な周知がなかったように思う。利用者(バスに掲示したとか)の声(特に高齢の方など)をしっかり聞いてほしい。ドライバー不足は、全体で活かす。(まずは賃金の保険！！手取りを高くすること、都や国から補助をもらう等)
- ・愛宕ルートを利用していますが多摩センターに行くのに苦労しています。エスティメール・サバービア前に停車できる様をお願いしたい。
- ・若い頃は歩く事も出来ましたが、さすが 80 代になると歩けません。是非継続を願いたい。
- ・仕方がないと思いますが残念ですが利用させていただきます。

- ・老人は自家用車に乗るな。従って、もっとミニバスの本数を減らすのはおかしい。
- ・バスの減便はやむなし。但し、朝便の時間前倒しは、電車との乗りつぎからして再考してほしい。
- ・できるならパターンダイヤ化して欲しい。ぐりーんうおーくに行ける(行きやすく)して欲しい。
- ・ミニバスの時間をわかりやすくしてほしい。10:00、11:00、12:00とかハンパな時間だと覚えづらい。
- ・ルートが長いと、時間のある方しか乗らない。資金面の課題と事業者の運転手不足を考えると、十年生を持たせるため、市で運転手と中型車両を保有し、タクシーとミニバスの両機能を有したシステムを考察すればよいと考えます。
- ・利用者のうち通勤利用者と日常的に利用する方々の利便性を手厚くし、運転手(公共交通の担い手)と利用者が日常的に声を掛け合う形へ自然につなげていけたらと思います。
- ・乗りつぎ割引制度をつくってほしい。
- ・できるなら、減便しないでもらいたい。存続のために市民と知恵を合わせてほしい。
- ・稲域のiバスのように短かく複数の路線で均一料金にしてほしい。
- ・本数をふやしてほしい。
- ・ミニバスを利用する小学生は無料にしてほしい。
- ・ミニバス同士の乗り継ぎ割引を検討してほしい。
- ・桜ヶ丘・和田ルートミニバスの運行便数を増して、夜の便を残して欲しい。そのかわり、シルバーパスを廃止して、収支を改善したらいいと思う。
- ・和田の住民です。ミニバスのルート維持を打ち出してもらったのは、ありがたい。本数が減ったとしても維持して欲しい。永山駅への直通ルートがないので。願わくば、市役所本庁舎では、市役所を通ることも検討願いたい。
- ・ミニバス見直しと合わせて路線バスのルートを見直せないか。
- ・バスで来たら、〇〇スーパーで割引などを検討できないか。
- ・若葉台～聖ヶ丘までのミニバスを通してほしい。
- ・東西線 諏訪 2 丁目の中まで入れるようにして欲しい。現在は端を通っているが、2 丁目奥の方達の移動が大変そうである。”
- ・南北線含め公共交通として必要なミニバスは、みんなで存続していきたいですね。
- ・ミニバスの再編は厳しい状況の中では仕方ないと思う。
- ・ミニバスの路線バスの経路をもっと市内もうら的に運行して欲しい。
- ・乗降の動線を分けて欲しい。降車箇所を駅そばにして乗車場所を東西にするとか。一番最初の姿に戻しては。
- ・帝京大方面のバス停を少し離れた方が良い。
- ・パターンダイヤの方が使いやすいのではないか。
- ・働きに出るのに使っている。
- ・時刻がひんぱんに変わると大変。
- ・時刻が決まったら教えて欲しい。
- ・告知がなくいきなり変わるとビックリしてしまう。
- ・鶴牧地区が減便になり残念。利用していた身からすると不便。
- ・聖蹟まで行くと 1000 円かかってしまい負担が大きい(シルバーパスはありがたい)
- ・パネルの説明がわかりやすい。
- ・ミニバスは助かっている。(減便は仕方無いところもあるが、維持して欲しい)
- ・体育館でのスクール、イベントの時間に合わせて欲しい、再編後も微妙にずれている便もある。
- ・市役所行きのバス停を作って欲しい。
- ・ミニバスの便数を増やして欲しい。
- ・桜ヶ丘の住民はあいクリニックに言っていることも多いので、桜ヶ丘ルートであいクリニック近くで降りたい。

10. パブリックコメント

(1)実施概要

パブリックコメントの開催概要については以下のとおり。

表 地域別意見交換会の実施概要

| | |
|------|---------------------------------------|
| 実施目的 | 本計画について、広く市民から意見を募り、地域ニーズに即した計画とするため。 |
| 実施期間 | 令和7年12月22日(月)～令和8年1月21日(水) |
| 提出者 | 3人 |
| 意見数 | 8件 |

(2)実施結果

パブリックコメントの実施結果については、以下のとおり。

| No. | 事項 | ご意見 | 市の考え方 |
|-----|------------------------------|---|--|
| 1 | 課題4-1 (バスターミナルの快適性向上)について | 「行き先とバス乗り場の統一」については数十年前の子どもの頃から私も感じてきたことで、たとえば去年廃止になった桜84系統(相模原駅行き)は、もし由木折返場方面行きと同じバス停で発車時刻も調整されていたなら、乗客も存在を認識して乗ってくれて、廃止になったりはしなかったと考えています。京王バスは渋谷駅などでも同様の失敗をしているので、これらの改善に当たっては、まずは利用者などからなる公開ワークショップを開いて利用者目線での案を打ち出して京王バス・神奈中バスと調整するようなプロセスで行なっていただきたいです。 | <p>バス乗り場についてのご意見ありがとうございます。次期多摩市交通マスタープラン(以下、本プランという。)における事業7(公共交通同士や多様な移動手段との連携強化)等の推進によって、公共交通を利用しやすい環境づくりを行ってまいります。いただいたご意見は、その際の参考とさせていただきます。</p> <p>公開ワークショップのご提案ありがとうございます。住民および利用者の声を反映する手法として、事業7をはじめとする各種取組を推進する際の参考とさせていただきます。</p> |

| No. | 事項 | ご意見 | 市の考え方 |
|-----|-----------------------------------|--|--|
| 2 | ミニバス利用実態の把握方法について(ミニバスへの乗降センサー導入) | <p>日野市ミニバスでは、車両に乗降客数カウントシステムを設置して、シルバーパス利用者を含めた正確な乗降客数を自動で集計できるようになっていると聞きます。</p> <p>運行事業者は同じ京王バスでもあり、多摩市ミニバスにも導入したらどうでしょうか。</p> <p>またシルバーパスの早期 IC カード化を東京都に働きかけ、さらに楽に正確に乗降データを得られるようにすべきと考えます。</p> | <p>乗降客数カウントシステムについてのご意見ありがとうございます。当該システムは、正確な利用実態を把握する上で、有意義なものと認識しております。ただし、多摩市ミニバスへの導入につきましては、乗降調査を行い、利用実態を把握しており、また、財源にも限りがありますので、現時点で新たなシステムの導入は検討しておりません。</p> <p>シルバーパスの IC カード化についてのご意見ありがとうございます。IC カード化によって、データ収集効率およびデータ精度の向上につながるものと認識しております。本プランにおける事業2(関係機関との協議)において、シルバーパス制度に関して、東京都との協議を進めることとしております。いただいたご意見は、その際の参考とさせていただきます。</p> |
| 3 | ミニバス南北線のルート一部変更の提案 | <p>地蔵堂付近でのルートについては、過去にも和田原通りを通過してサミットストア買い物客も利用しやすくできないか検討されたようですが実現しておらず、貴重なバスルートがもったいないと感じます。地蔵堂までのルートはそのまま、戻りは和田原通りを通過してサミットストア近くに片側だけのバス停を設け、そこから「総合体育館入口」を通り元のルートに戻るといった部分的な循環経路にしてはどうでしょうか。これであるとミニバス同士のすれ違いは発生せずバス停も片側だけで OK、利用者的にもデメリットはほとんどないと考えるのですが、いかがでしょうか。</p> | <p>ミニバス南北線の具体的な運行ルートのご提案ありがとうございます。いただいたご意見は、本プランにおける事業4(ミニバスの再編)を推進する際の参考とさせていただきます。</p> |

| No. | 事項 | ご意見 | 市の考え方 |
|-----|-----------------------------|---|--|
| 4 | 検討体制について（スクールバス等の一般乗合化について） | 素案のP.26でも触れていますが、市内には京王自動車さんや南観光交通さんをはじめとする大学や会社専用バスをあちこちで見かけます。解散総選挙で成立時期は見通せませんが、国交省も今通常国会で法改正を実現したいという記事も見かけました。新年度の「多摩市地域公共交通会議」には、南観光交通さんにもオブザーバーなどとして加わっていただくようにしたらどうでしょうか。 | <p>多摩市地域公共交通会議の体制についてのご意見ありがとうございます。市内で運行されている各種送迎サービスの活用については、国においても関係法令の見直しが検討されていると承知しており、本市としても今後の国の動向を注視していきます。</p> <p>本プランにおける事業1（交通事業者との協議）や事業2（関係機関との協議）の中で、多様な関係者との協議を行うこととしております。いただいたご意見は、それら事業を推進する際の参考とさせていただきます。</p> |
| 5 | 小型モビリティについて | 昨夏に豊ヶ丘で実証実験の際にも担当の大学研究者にお話を聞いたのですが、現状の最大の課題は、屋根が付けられないことかなと感じます。最近話題のダイハツ「e-SNEAKER」にも屋根はなく、警察の考え方も理解はできるのですが、難しいですね。（感想でした） | 小型モビリティについてのご意見ありがとうございます。今後も、小型モビリティの動向等について注視していきます。 |

| No. | 事項 | ご意見 | 市の考え方 |
|-----|-----------------------------------|--|--|
| 6 | 事業7 (公共交通同士や多様な移動手段との連携強化)について | <p>実施内容 交通結節点における連続性の確保 乗り場案内板の改善</p> <p>バスの乗り場案内が一部修正されているものかなり古いままなので紙で小さくてもいいので最新のものを掲示してほしい</p> <p>紙ならばそんなに手間にならず、すぐにもできる</p> <p>現状は以下の通り</p> <p>聖蹟桜ヶ丘駅バスターミナル</p> <p>バス総合案内 12番乗り場近くにある</p> <p>2番乗り場 相模原駅行 桜84 廃止</p> <p>2場乗り場 成田空港行 休止中</p> <p>3番乗り場 東電学園行 名称変更 東京電力総合研修センター</p> <p>4番乗り場 河口湖行 廃止</p> <p>7番乗り場 永山駅行 多摩市役所経由 桜64 廃止</p> <p>7番乗り場 多摩センター行 永山駅経由 桜45 新設</p> <p>8番乗り場 鶴牧団地循環 桜63廃止</p> <p>11番乗り場 多摩東公園行 桜27 廃止</p> <p>聖蹟桜ヶ丘駅バスターミナル 目的地別バス のりば案内</p> <p>多摩市公民館・図書館が多摩市役所バス停で降りることになっている。 多摩市公民館と図書館が市役所の場所から無くなったのはかなり昔。 他にも修正が必要な個所が多数ある。</p> | <p>バス乗り場案内の現状について、ご意見ありがとうございます。乗り場案内については、関係者等と連携し、確認、更新に取り組んでいきますが、あわせて、デジタル技術を活用した案内等、時代に即した方法を検討してまいります。</p> |

| No. | 事項 | ご意見 | 市の考え方 |
|-----|----------------------------|---|--|
| 7 | 各事業における検討について(移動実態の分析について) | 本プランでは、移動実態の総括が1頁のみとなっています。これから、本プランにもとづき、ミニバス計画や自転車計画を含めた、各論としての下位計画を検討実施されるわけですが、その際は、より具体的・詳細に移動実態を分析・整理したうえで、ご検討をお願いします。 | <p>詳細検討時におけるデータ分析等についてのご意見ありがとうございます。本プランにおいては、市が目指す方向性・実施する取組を簡潔に市民の皆様にお伝えすることを優先し、掲載する情報を限定することとしております。そのため、データ分析やアンケートの詳細データは、資料編に掲載いたします。</p> <p>今後、各種事業の詳細を検討する際には、それらデータを活用して、地域の実態に即した取組を推進してまいります。</p> |
| 8 | アンケート結果のグラフについて | <p>☒ 自転車を利用する頻度</p> <p>☒ 自転車を利用する際の外出目的</p> <p>☒ 自転車の利用する際の困りごと</p> <p>・設問が、単数回答なのか複数回答なのか、明記してください。</p> <p>・回答者数総数(中学生何人、高校生何人)を明記してください。</p> <p>◇質問と意見 「外出目的」と「困りごと」の集計では、%表示の分母は、回答数総数でしょうか。そうであれば、その値も明記してください。</p> <p>◇意見 「外出目的」と「困りごと」の集計では、回答数総数に対する割合を示す以前に、中学回答者総数に対して、あるいは高校回答者総数に対する割合が示されないと、誤解が生じるのではないのでしょうか。</p> <p>中学生と高校生では、外出目的・目的地と頻度が異なり、利用する道・距離や駐輪場の事情も異なるようです。</p> <p>したがって、無理に比較する必要はなく、中高に分けて、回答者総数のバーと%表示のグラフにしたほうが理解しやすいのではないのでしょうか。</p> <p>◇質問 別冊資料編では、各設問の選択肢に対しての、回答者の実数が集計記載されているのでしょうか。</p> | <p>【本プランを修正】</p> <p>各種グラフについてのご意見ありがとうございます。回答形式や回答者数などを追記して、分かりやすく、誤解が生じない表記となるように修正いたします。また、「外出目的」と「困りごと」の集計における分母は、回答者数になりますので、そのことが分かるように修正をさせていただきます。</p> <p>別冊資料編では、設問ごとに回答者数を記載したものを掲載いたします。</p> |